

災害への備え万全に！

総合防災訓練に5000人参加

第18回明和町総合防災訓練が9月5日、明和中学校校庭で開かれ、消防団や婦人消防隊、区長会、東・西小学校少年消防クラブ、館林消防署、役場など12機関から約5000人が参加して本番さながらの訓練を行いました。

訓練は、いざというときの大規模災害に備え、防災活動の技術向上と町民皆さんの防災意識の高揚を図ることが目的で、震度6弱の烈震と大型台風の接近を想定。

会場では、雨が降る中、非常召集訓練から始まり、避難、初期消火、心肺蘇生救護、水災防ぎょ活動、有毒ガス対応など13の訓練が繰り広げられました。参加者は、非常に緊迫した中、きびきびとした動作で訓練に取り組んでいました。訓練本部長の斎藤町長は、「一人ひとりが普段から防災に対する関心を深め、不慮の災害に適切に対処しうるよう心の準備を高めることが何より大切です」と訓示しました。



消防団員による積土のう工法訓練



婦人消防隊員による三角巾を使った応急救護訓練



消防署員による
有毒ガス対応訓練



各種団体による避難訓練



少年消防クラブ員によるバケツを使った初期消火訓練